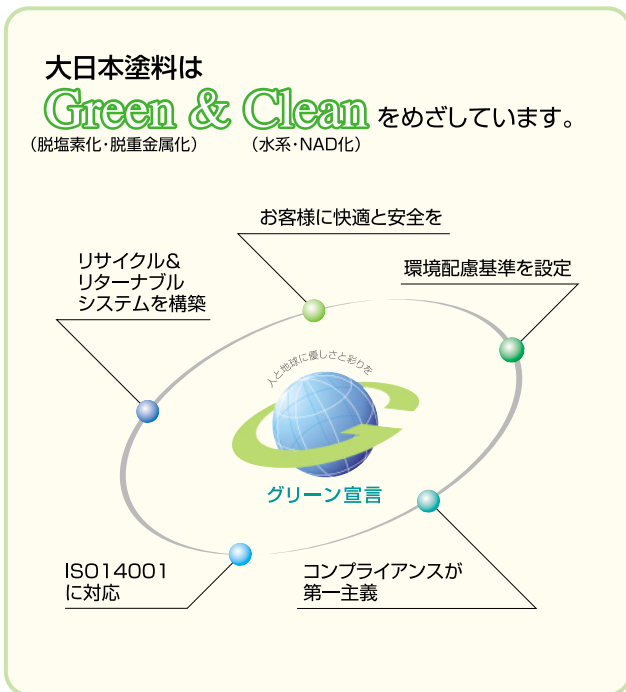


「環境への配慮」をコンセプトとしたアクションプランを策定し、
全員参加でRC (レスポンシブル・ケア) 活動等に取り組んでいます。

グリーン宣言



自分たちの出来ることから実行することが、地球規模の環境を守ることとなります。大日本塗料は『グリーン宣言』を掲げ、全社一丸となって「環境を守り、健康で快適な暮らしを創る」をテーマに、環境対応に積極的に取り組み、企業としての責任を遂行していきます。



環境安全行動計画

| RCコード | 行動計画 |
|----------|--|
| 環境保全 | VOC取扱量及び大気排出量の削減 |
| | 廃棄物リサイクル率の向上 |
| | 消費エネルギー削減 |
| | 環境配慮形商品の販売比率向上 |
| 保安防災 | リスクアセスメントの実施と防災対策 |
| | 設備運用と保守点検 |
| | 設備事故の発生ゼロ |
| 労働安全衛生 | 労働災害の発生ゼロ |
| | 長期疾病率の低減 |
| | 5S活動とヒヤリハットマップの活用 |
| 物流安全 | 製品輸送、取り扱いに於ける事故ゼロ |
| | 輸送安全措置用携行品(イエローカード、吸着材等)の完全励行とセンター常備品(吸着材等)の保管徹底 |
| 化学品・製品安全 | 原材料の安全性情報の整備 |
| | 製品MSDSの提供 |
| | 環境・安全に配慮した製品設計と品質管理 |
| 社会との対話 | 地域社会との交流 |
| | 環境活動に関する情報発信 |



| | 2008年度活動実績 | 2009年度目標 | 中長期計画 | 関連頁 |
|--|---|--|--|--------|
| | <ul style="list-style-type: none"> VOC取扱量2000年度比 那須工場 14%減 小牧工場 65%減 VOC大気排出量2000年度比 那須工場 8%減 小牧工場 56%減 | <ul style="list-style-type: none"> VOC取扱量及び大気排出量の削減 対前年比20%削減 | | P18 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 廃棄物リサイクル率 那須工場 70% 小牧工場 16% 廃棄物総量前年比 那須工場 29%減 小牧工場 6%減 | <ul style="list-style-type: none"> 廃棄物リサイクル率の対前年比改善 廃棄物総量の対前年比削減 | 製品中の有機溶剤削減に取り組むと共に、省エネルギー、廃棄物低減を推進する | P21 |
| | <ul style="list-style-type: none"> CO₂発生量換算で前年比1.5%減 | <ul style="list-style-type: none"> 消費エネルギーをCO₂発生量換算で対前年比 3%削減 | | P17 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 環境配慮形商品の開発推進 環境配慮形商品を展示会等でPRし拡販 | <ul style="list-style-type: none"> 環境対応型商品の品揃え完了し拡販 | | P12-15 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 生産設備機器のリスク評価表を作成しアセスメントを実施 | <ul style="list-style-type: none"> 設備、機械のリスクアセスメントを計画的に実施し、本質安全を見据えた先取り改善を実施する | リスクアセスメントに基づく予防処置を含む作業時の保安防災体制を強化する | — |
| | <ul style="list-style-type: none"> 前年に引き続き写真等による設備運転基準の見える化を実施 設備点検基準に基づき月次点検、半期毎に定期点検を実施 | <ul style="list-style-type: none"> 設備保守点検を計画的にもれなく実施 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 事故3件が発生。設備不良と人為的なうっかりミス等による事故のため、即対策を実施 | <ul style="list-style-type: none"> 事故の発生ゼロ | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 不休災害12件が発生。派遣会社員の休業災害の発生があり、工場内設備の見直しを実施 | <ul style="list-style-type: none"> 災害の発生ゼロ | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 長期疾病率の全社目標2.4%以内に対し実績4.7%で目標達成できず | <ul style="list-style-type: none"> 長期疾病の発生抑制 | 安全操業確保のための企業風土の維持・改革に努めると共に、従業員のメンタルヘルスにも配慮した働きやすい職場の実現を図る | P28-29 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 工場全体で5S活動を推進 ヒヤリハット内容の検証を行い、対策を実施 安全コンサルタント同行での安全衛生委員会パトロールを実施 安全衛生ビデオを活用した安全教育を実施 安全衛生ニュースを毎月発行しPR | <ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハットマップの活用 5Sの展開 安全教育を重視し、繰り返し実施 PR、教育、訓練に関する基準類の整備運用 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 危険物・劇物の積載・運搬上の注意事項徹底及び実施 重大事故に繋がる過積載の防止徹底 発生した事故については調査、対策報告を実施済み | <ul style="list-style-type: none"> 輸送取扱に於ける危険有害因子特定及び周知とそのチェックの完全実施 製品輸送、取り扱いに於ける事故ゼロ | 製品輸送に関するリスクアセスメントを実施し、環境保全、安全、健康を確保する | — |
| | <ul style="list-style-type: none"> イェローカード「危」マーク・消火器・吸着材を携帯実施 年1回抜き打ち検査を実施して携帯を確認 各センター決められた場所に備品を用意(砂袋・ウエス・スコップ・箒) | <ul style="list-style-type: none"> 輸送安全措置用携行品(イェローカード、吸着材等)の完全励行とセンター常備品(吸着材等)の保管徹底 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 国内外の法規制に対応した原料データベースの更新を実施 | <ul style="list-style-type: none"> 原材料の安全性情報の整備 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 化管法(PRTR法)改正とGHS化に対応したシステム改良を実施 製品MSDSを発行提供 | <ul style="list-style-type: none"> 製品MSDSのデータの最新化とGHS対応 | 製品に関する化学物質等のリスクアセスメント実施要領作成とリスクアセスメント実施体制の構築 | P12 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 環境配慮形商品の生産管理、品質管理を継続実施 | <ul style="list-style-type: none"> 環境・健康・安全に配慮した製品設計・品質管理基準の見直しと徹底 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 地域社会でのボランティア活動実施。地域主催の産業フェスティバル等の行事にも積極的に参加し、交流活動実施 工場見学、地域交流会等を開催 労働基準協会、危険物安全協会、防火協会、ISOネットワーク等の各協会に加盟し活動実施 | <ul style="list-style-type: none"> 地域関係団体、協会活動に取り組み情報交換 | 地域立地企業として地域社会との融和を図り、社会から高い信頼を得るよう努める | P26 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 社会・環境報告書、RC活動報告、環境セミナー、HP情報などで情報発信 | <ul style="list-style-type: none"> 社会・環境報告書、RC活動報告、環境セミナー、HP情報などで情報発信 | | |